

## ■ 本文

※例文は学習用に作成しています（有名な一節を含む場合があります）。

- ① 山里は冬ぞさびしさまさりける。
- ② 花の色はうつりにけりな。
- ③ 春の夜の闇はあやなし。
- ④ 風の音にぞおどろかれぬる。
- ⑤ 月を見ばいと悲しからむ。
- ⑥ 鳥の声聞こえず。
- ⑦ いざ、川辺へ行かむ。
- ⑧ 主人ありければ、門を開けたり。

## ■ 設問（全22問）

1. ①の文「山里は冬ぞさびしさまさりける。」を品詞分解し、各単語の品詞・活用の種類・活用形を答えよ。
2. ①の「まさり」の品詞は何か。活用の種類と活用形も答えよ。
3. 【記述】①の文末「ける」が連体形になっている理由を、文中の語に触れて一文で説明せよ。
4. ②の文「花の色はうつりにけりな。」を品詞分解し、各単語の品詞・活用の種類・活用形を答えよ。
5. ②の「うつり」の品詞は何か。活用の種類と活用形も答えよ。
6. ③の文「春の夜の闇はあやなし。」を品詞分解し、各単語の品詞・活用の種類・活用形を答えよ。
7. ③の「あやなし」の品詞は何か。活用の種類と活用形も答えよ。
8. ④の文「風の音にぞおどろかれぬる。」を品詞分解し、各単語の品詞・活用の種類・活用形を答えよ。
9. 【記述】④の「おどろかれぬる」を品詞分解したうえで、助動詞「れ」がここでは「自発（自然と～される）」の意味になる理由を簡潔に説明せよ。
10. ⑤の「悲しから」の品詞は何か。活用の種類と活用形も答えよ。
11. ⑤「月を見ばいと悲しからむ。」を現代語訳せよ。
12. ⑥の「聞こえ」の品詞は何か。活用の種類と活用形も答えよ。
13. ⑥「鳥の声聞こえず。」を現代語訳せよ。
14. ⑦の文「いざ、川辺へ行かむ。」を品詞分解し、各単語の品詞・活用の種類・活用形を答えよ。
15. ⑧の「ければ」「たり」の助動詞について、それぞれの意味を答えよ。  
「ければ」の中の助動詞「けり」の意味  
「たり」の意味
16. ①の「ける」、②の「けり」の助動詞について、それぞれの意味と活用形を答えよ。
17. ④の「れ」、⑤の「む」の助動詞について、それぞれの意味（用法）を答えよ。

18. ①の「ぞ」、④の「ぞ」の助詞の種類（係助詞・格助詞など）を答えよ。また係助詞である場合、結びの語の活用形を答えよ。
19. ②の「な」、⑦の「いざ」について、それぞれの品詞を答えよ。
20. ①の「まさり」、④の「おどろか」の活用形をそれぞれ答えよ。
21. ⑤の「見」、⑦の「行か」の活用形をそれぞれ答えよ。
22. 次の文を現代語訳せよ。
- ①「山里は冬ぞさびしさまさりける。」
  - ④「風の音にぞおどろかれぬる。」